

面

音メン

面
面
面
面
面
面
面
面
面

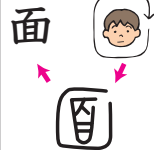
魚が水面ではねる。

一面 画面 全面 面会 面談

いちめん がめん ぜんめん めんかい めんだん

なり立ち

人の顔の外がわを、線（せん）でぐるりとかこんだ様子からできた。「顔（かお）」に「顔（かお）にかぶるもの」を表す。



9画 面
めん

速

音ソク

訓
ははは
ややや
まるめる

速
速
速
速
速
速
速
速
速

兄は足が速い。

足を速める。流れが速まる。

音速 高速道路 時速

おんそく こうそくどうろ じそく

なり立ち

東（いそ）と走（はし）（行く）を合わせた字。急ぎ足で歩くことを表す。



10画 速
しんよう

起

音キ

訓
おおお
こころ
こす

起
起
起
起
起
起
起
起
起

朝の六時に起きる。

火事が起こる。体を起こす。

起工 起点 起立

きこう きてん きりつ

なり立ち

走（はし）走る、動く」と己（おの）曲（ま）がったものがのびる様子（ようす）を合わせた字。休んでいたものが起き上がることを表す。



10画 起
そうよう

葉

音ヨウ

訓
は葉
葉
葉
葉
葉
葉
葉
葉
葉

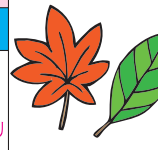
言葉づかいを直す。

青葉 子葉 落葉

あおば しかば らくよう

なり立ち

艸（くさ）と葉（は）（うすい木）の切れはしを合わせた字。草（くさ）や木のうすいふだのような部分、葉を表す。



12画 葉
くさかんむり

2

新しい漢字

すいせんのラップ

p.16~





20 ページ

訓
まめ

音
コウ

向

訓
むく
むける
むかう
こう

1	向	向	向	向	向	向	向	向	向
2	向	向	向	向	向	向	向	向	向
3	向	向	向	向	向	向	向	向	向
4	向	向	向	向	向	向	向	向	向
5	向	向	向	向	向	向	向	向	向
6	向	向	向	向	向	向	向	向	向

南へ向かう。

顔を向ける。向こう岸

右を向く。方向 向上

なり立ち

白(家)とロ(まど)を合わせた字。家のまどから空気が外へ出て行くように、ある向きに進んで行くことを表す。

6画

向

くち

22

訓
みどり

音
リョク

緑

訓
みどり

1	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
2	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
3	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
4	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
5	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑
6	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑	緑

公園に緑地が広がる。

新緑 緑茶を飲む。緑化

緑色 黄緑 緑の多い町。

なり立ち

糸と录(緑色)を合わせた字。緑色にそめた糸を表す。

14画

緑

いとへん

23

訓
かん

音
カン

感

訓
かん

1	感	感	感	感	感	感	感	感	感
2	感	感	感	感	感	感	感	感	感
3	感	感	感	感	感	感	感	感	感
4	感	感	感	感	感	感	感	感	感
5	感	感	感	感	感	感	感	感	感
6	感	感	感	感	感	感	感	感	感

風を感じる。

五感 語感 同感

かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん

なり立ち

心と咸(ゆり動かす)を合わせた字。「心が動かされること」「物事を感じ取ること」を表す。

13画

感

こころ

23

訓
まめ

音
トウ

豆

訓
まめ

1	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆
2	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆
3	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆
4	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆
5	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆
6	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆

豆をまく。

豆電球 豆ふ なっ豆

大豆を使った食品。

なり立ち

食べ物を入れる、足のついたうつつわの形からできた。

7画

豆

まめ

子	ス	読み方
様子	ようす	つかい方
男子	男の子	読み方



読みかえのかん字

語	かた	読み方
語	かた	つかい方
国語	こくご	読み方

仕	シ	読み方
仕	し	つかい方
仕	し	読み方

仕入れ 仕切り 仕事

王様に仕える。

体の仕組みを学ぶ。

なり立ち

①(ひと)と士(やくにん)を合わせた字。役人になることから、人のためにはたらくことを表す。

5画 仕

にんべん

様	ヨウ	読み方
様	よう	つかい方
様	よう	読み方

様式 様相 一樣 多様

同様に仕える。

王様に仕える。

外の様子を見る。

意味

①ありさま
②形・仕方
③も様・図
④名前などの下につけて、相手をうやまう言葉

14画 様

きへん

物	ブツ	読み方
物	ぶつ	つかい方
物	ぶつ	読み方

東京を見物する。

人物 動物 作物 食物

書物 物音 物語 品物

なり立ち

牛(動物)と勿(いろいろな色のぬの)を合わせた字。毛がさまざまな色の動物から、いろいろな物を表す。

8画 物

うしへん



5

読む

すいせんのラッパ

16~



○…新しいかん字
●…読みかえのかん字
◆…とくべつな読み方をする
かん字

- 1 風で草の葉がうごく。
- 2 父さんが起きる。
- 3 ながれの速い川。
- 4 月面に立つ。
- 5 向こうぎし。
- 6 緑色の絵のぐ。
- 7 わるいよ感。
- 8 まつりで豆をまく。
- 9 どう物が走る。
- 10 た様な考え方。
- 11 仕ごとがおわる。
- 12 空の様子を見る。
- 13 思い出を語る。
- 14 かい会の言葉。
- 15 火じが起こる。
- 16 台風の速どが速まる。
- 17 右の方向へ行く。
- 18 しん緑の野山。
- 19 大豆を食べる。
- 20 王様に仕える。

6

書く

すいせんのラップ

p.16~



1 かぜでくさのはがうごく。

2 とうさんがおきる。

3 ながれのはやいかわ。

4 げつめんにたつ。

5 むこうぎし。

6 みどりいろのえのぐ。

7 わるいよかん。

8 まつりでまめをまく。

9 どうぶつがはしる。

10 たようなかんがえかた。

11 しごとがおわる。

12 そらのようすをみる。

13 おもいでをかたる。

14 かいかいのことば。

15 かじがおこる。

16 たいふうのそくどがはやまる。

17 みぎのほうこうへいく。

18 しんりよくのやま。

19 だいずをたべる。

20 おうさまにつかえる。

赤い字…新しくならったかん字・読み・とくべつな読み方の字…おくりがある言葉

ことばの言葉は、おくりがなも書きましょう。